

# 環境活動レポート

活動期間	2019年1月～12月
発行日	2020年3月26日

- 郷土への想いを『かたち』に -



- 郷土への想いを『かたち』に -



株式会社 **山長組**

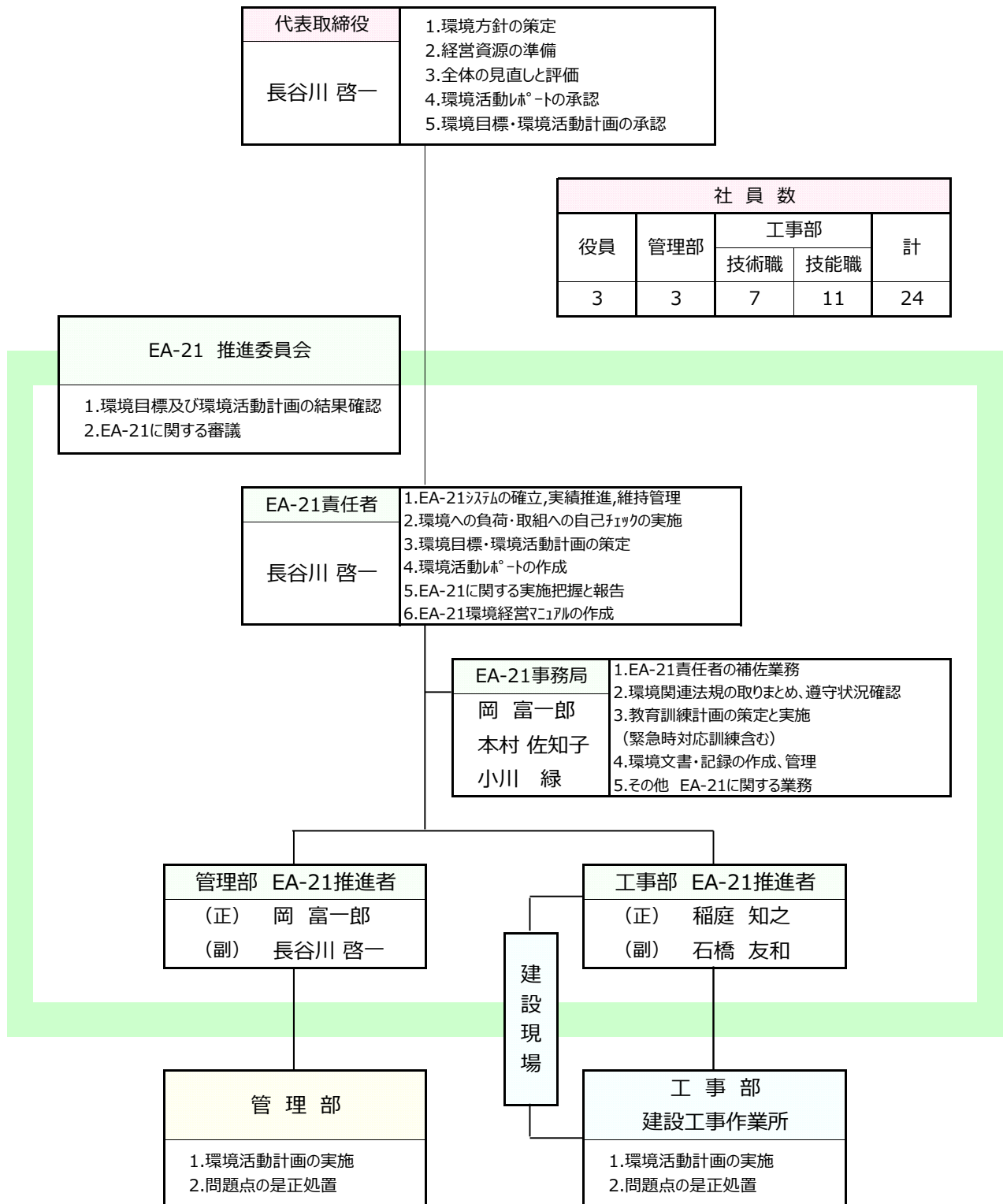
\*\*\* 目次 \*\*\*

	頁 No.
I. 組織の概要	01
II. 実施体制	02
III. 環境方針	03
IV. 環境負荷の状況	04
V. 環境目標と実績	06
VI. 主要な環境活動計画の内容	10
VII. 主な活動結果と評価	12
VIII. 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無	13
IX. 代表者による全体評価と見直しの結果	14

## I. 組織の概要

1. 事業所名 : 株式会社 山 長 組
2. 代 表 者 : 代表取締役 長谷川 啓一
3. 所 在 地 : 〒940-2306 新潟県長岡市脇野町473番地
4. 対 象 範 囲 : 株式会社山長組の全組織、全活動。
5. 事 業 概 要 : 土木工事、建築工事、管工事、とび・土工工事、造園工事 一式  
〔 建設業許可登録 新潟県知事許可 第007055号 〕  
\* 土木工事のみ特定建設業、その他一般建設業  
\* 敷地面積 3,600㎡                      \* 従業員 24名
6. 環境管理責任者 : 長谷川 啓一
7. 連 絡 先 : TEL : 0258-42-2226                      FAX: 0258-42-2227  
E-m a i l : e-mail@yamachogumi.co.jp  
URL: <http://www.yamachogumi.co.jp>

## II. 実施体制



### Ⅲ. 環境方針

私たちは、 - 郷土への想いを “ かたち ” に - を旨として自然豊かな郷土の環境保全の重要性を認識し、全社員一丸となり環境に配慮した行動のもと、環境保全と地域社会に貢献します。

1. 当社は、事業活動における環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守します。
3. 当社の事業活動において環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取組みます。
  - ①化石燃料使用量、電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減
  - ②節水と雨水等の有効利用
  - ③廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進
  - ④環境に配慮した施工計画・創意工夫提案の推進
  - ⑤事務用品のグリーン購入の推進
4. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この環境方針は当社全社員に周知徹底し、全社員で取組みます。

2016年4月5日

株式会社 山 長 組

長谷川 啓一



## IV. 環境負荷の状況

### 1. 環境負荷の状況

当社における2019年の環境負荷の状況は、下表に示すとおりです。

項目等〔単位〕		前年 実績値	2019年 1~12月		
			活動結果	対前年比	
二酸化炭素排出量	年間総量 〔kg-CO <sub>2</sub> /年〕	全社	<b>171,094</b>	<b>144,561</b>	<b>-16%</b>
		(事業所)	11,286	10,277	-9%
		(建設現場)	159,808	134,284	-16%
	原単位 〔kg-CO <sub>2</sub> /百万円〕	全社	<b>449.78</b>	<b>334.09</b>	<b>-26%</b>
		(事業所)	29.67	23.75	-20%
		(建設現場)	420.11	310.34	-26%
電気使用量	年間総量 〔kWh/年〕	全社	<b>16,484</b>	<b>19,315</b>	<b>17%</b>
		(事業所)	7,806	7,655	-2%
		(建設現場)	8,678	11,660	34%
	原単位 〔kWh/百万円〕	全社	<b>43.33</b>	<b>44.64</b>	<b>3%</b>
		(事業所)	20.52	17.69	-14%
		(建設現場)	22.81	26.95	18%
化石燃料使用量	年間総量 〔t/年〕	全社	<b>51,165</b>	<b>48,723</b>	<b>-5%</b>
		(事業所)	2,814	2,467	-12%
		(建設現場)	48,351	46,256	-4%
	原単位 〔t/百万円〕	全社	<b>149.34</b>	<b>112.60</b>	<b>-25%</b>
		(事業所)	9.55	5.70	-40%
		(建設現場)	139.79	106.90	-24%
建設廃棄物排出量	年間総量 〔t/年〕	全社	<b>1,045.8</b>	<b>721.4</b>	<b>-31%</b>
		(事業所)	-	-	-
		(建設現場)	1,045.8	721.4	-31%
	原単位 〔t/百万円〕	全社	<b>2.75</b>	<b>1.67</b>	<b>-39%</b>
		(事業所)	-	-	-
		(建設現場)	2.75	1.67	-39%

※上表の原単位は、工事出来高（生産高）当りを示す。

購入電力の二酸化炭素排出係数は、平成27年度東北電力排出係数の0.559(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

項目等〔単位〕			前年 実績値	2019年 1~12月	
				活動結果	対前年比
一般廃棄物 排出量	年間総量 〔kg/年〕	全社	<b>244.2</b>	<b>220.9</b>	<b>-10%</b>
		(事業所)	244.2	220.9	-10%
		(建設現場)	-	-	-
	原単位 〔kg/人〕	全社	<b>10.42</b>	<b>9.60</b>	<b>-8%</b>
		(事業所)	10.42	9.60	-8%
		(建設現場)	-	-	-
水 使用量	年間総量 〔m3/年〕	全社	<b>116</b>	<b>106</b>	<b>-9%</b>
		(事業所)	116	106	-9%
		(建設現場)	-	-	-
	原単位 〔m3/人〕	全社	<b>5.04</b>	<b>4.61</b>	<b>-9%</b>
		(事業所)	5.04	4.61	-9%
		(建設現場)	-	-	-
コ ピ ー 用 紙 使 用 量	年間総量 〔kg/年〕	全社	<b>140</b>	<b>137</b>	<b>-2%</b>
		(事業所)	140	137	-2%
		(建設現場)	-	-	-
	原単位 〔kg/人〕	全社	<b>6.09</b>	<b>5.96</b>	<b>-2%</b>
		(事業所)	6.09	5.96	-2%
		(建設現場)	-	-	-

## V. 環境目標と実績

### 1. 環境目標

2019年までの中期活動目標は、2011年から2016年の実績平均を基準値として基準値比-3%を環境目標としました。

取組項目 (単位)		基準値	環境目標		
		2011~16年 実績平均	2017年	2018年	2019年
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	全社	<b>470.13</b>	<b>465.43</b>	<b>460.73</b>	<b>456.02</b>
	(事業所)	41.23	40.82	40.41	39.99
	(建設現場)	428.90	424.61	420.32	416.03
削減目標率			基準値比 -1%	基準値比 -2%	基準値比 -3%
電気使用量の削減 原単位 (kWh/百万円)	全社	<b>48.37</b>	<b>47.89</b>	<b>47.40</b>	<b>46.92</b>
	(事業所)	29.92	29.62	29.32	29.02
	(建設現場)	18.45	18.27	18.08	17.90
削減目標率			基準値比 -1%	基準値比 -2%	基準値比 -3%
化石燃料使用量の削減 原単位 (t/百万円)	全社	<b>152.38</b>	<b>150.85</b>	<b>149.34</b>	<b>147.81</b>
	(事業所)	9.74	9.64	9.55	9.45
	(建設現場)	142.64	141.21	139.79	138.36
削減目標率			基準値比 -1%	基準値比 -2%	基準値比 -3%
建設廃棄物排出量の削減 原単位 (t/百万円)	全社	<b>3.94</b>	<b>3.90</b>	<b>3.86</b>	<b>3.82</b>
	(事業所)	-	-	-	-
	(建設現場)	3.94	3.90	3.86	3.82
削減目標率			基準値比 -1%	基準値比 -2%	基準値比 -3%
一般廃棄物排出量の削減 原単位 (kg/人)	全社	<b>10.63</b>	<b>10.52</b>	<b>10.42</b>	<b>10.31</b>
	(事業所)	10.63	10.52	10.42	10.31
	(建設現場)	-	-	-	-
削減目標率			基準値比 -1%	基準値比 -2%	基準値比 -3%
水使用量の削減 原単位 (m <sup>3</sup> /人)	全社	<b>4.36</b>	<b>4.40</b>	<b>4.40</b>	<b>4.40</b>
	(事業所)	4.36	4.40	4.40	4.40
	(建設現場)	-	-	-	-
削減目標率		基準値：4.40	基準値以下の維持	基準値以下の維持	基準値以下の維持
PC用紙使用量の削減 原単位 (kg/人)	全社	<b>5.41</b>	<b>5.40</b>	<b>5.40</b>	<b>5.40</b>
	(事業所)	5.41	5.40	5.40	5.40
	(建設現場)	-	-	-	-
削減目標率		基準値：5.40	基準値以下の維持	基準値以下の維持	基準値以下の維持
グリーン購入の推進 (グリーン購入/事務用品)	全社	-	<b>全購入品</b>	<b>全購入品</b>	<b>全購入品</b>
	(事業所)	-	全購入品	全購入品	全購入品
	(建設現場)	-	-	-	-
購入率		-	100%	100%	100%
環境に配慮した創意工夫 提案の推進 完成工事当り (件/完成工事)	全社	-	<b>1件以上/1工事</b>	<b>1件以上/1工事</b>	<b>1件以上/1工事</b>
	(事業所)	-	-	-	-
	(建設現場)	-	1件以上/1工事	1件以上/1工事	1件以上/1工事
1工事提案率		-	100%以上	100%以上	100%以上

Yamacho



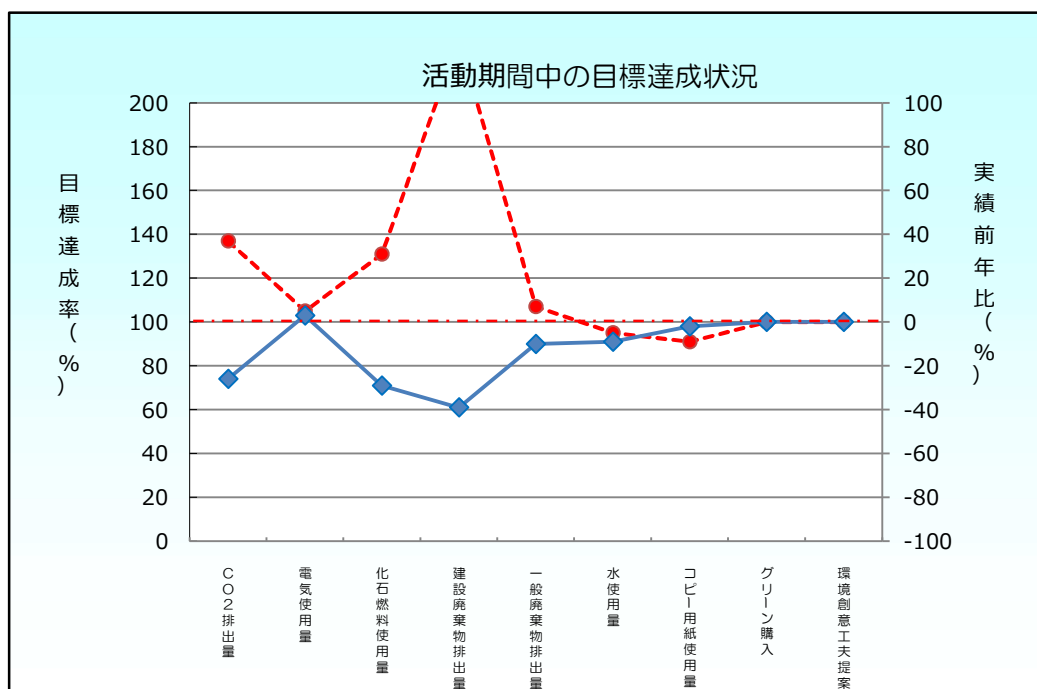
## 2. 目標に対する達成状況

2019年の環境目標に対する達成状況は、下表に示すとおりです。

取組項目	単位	前年実績値	2019年目標値	2019年実績値	目標達成率	実績前年比	結果
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	171,094	-	144,561	-	-16%	
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	449.78	456.02	334.09	137%	-26%	○
電気使用量の削減	kWh	16,484	-	19,315	-	+17%	
	kWh/百万円	43.33	46.92	44.64	105%	+3%	△
化石燃料使用量の削減	㎥	60,712	-	48,723	-	-20%	
	㎥/百万円	159.60	147.81	112.60	131%	-29%	○
建設廃棄物排出量の削減	t	1,045.8	-	721.4	-	-31%	
	t/百万円	2.75	3.82	1.67	229%	-39%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	244.2	-	220.9	-	-10%	
	kg/人	10.62	10.31	9.60	107%	-10%	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	116.0	-	106.0	-	-9%	
	m <sup>3</sup> /人	5.04	4.40	4.61	95%	-9%	×
PC用紙使用量の削減	kg	140.0	-	137.0	-	-2%	
	kg/人	6.09	5.40	5.96	91%	-2%	×
グリーン購入の推進	事務用品購入率	-	-	-	-	-	
	%	100.0	100.0	100.0	100%	±0%	○
環境に配慮した創意工夫提案	1工事提案率	-	-	-	-	-	
	%	100.0	100.0	100.0	100%	±0%	○

(凡例) 箇所は原単位当りの活動結果を示す。  
○：目標達成 △：目標達成、但し前年比増 ×：目標未達

●---：目標達成率 ◆---：実績前年比



### 3. 目標に対する実績

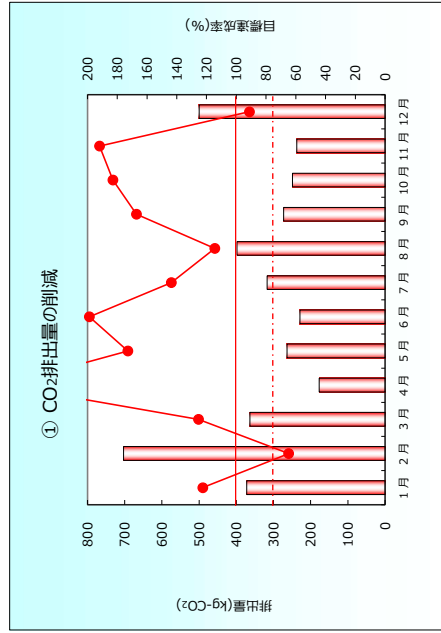
2019年の取組項目ごとの環境目標に対する達成状況は、下表に示すとおりです。

取組項目 (単位)	2019年 実績												実績値
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	全社	372.31	703.56	363.61	177.41	263.82	317.25	398.21	272.97	249.31	237.58	500.06	334.09
	(事業所)	39.99	52.30	42.11	20.70	11.49	12.82	18.44	17.74	12.14	11.59	37.93	23.75
	(建設現場)	416.03	651.26	321.50	156.71	252.33	304.43	379.77	255.23	237.17	225.99	462.13	310.34
	目標達成率(%)	122.5	64.8	125.4	257.0	172.9	198.8	114.5	167.1	182.9	191.9	91.2	137%
結果	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
電気使用量の削減 原単位 (kWh/百万円)	全社	46.92	63.37	45.98	43.77	36.49	29.42	57.29	117.25	20.25	21.64	33.84	44.64
	(事業所)	29.02	15.94	16.68	15.99	16.46	17.44	27.95	22.15	14.40	14.13	18.66	17.69
	(建設現場)	17.90	26.82	44.13	27.78	20.03	11.98	29.34	95.10	5.85	7.51	15.18	26.95
	目標達成率(%)	109.7	74.0	102.0	107.2	128.6	159.5	81.9	40.0	231.7	216.8	138.7	105%
結果	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○
化石燃料使用量の削減 原単位 (%/百万円)	全社	147.81	134.70	247.00	60.80	85.90	116.80	142.20	82.20	58.40	80.50	183.90	112.60
	(事業所)	9.45	11.80	13.20	4.70	1.10	1.90	1.60	2.40	1.70	1.70	11.00	5.70
	(建設現場)	138.36	122.90	230.30	56.10	84.80	114.90	140.60	79.80	56.70	78.80	172.90	106.90
	目標達成率(%)	109.7	59.8	137.5	243.1	172.1	179.6	103.9	179.8	253.1	183.6	80.4	131%
結果	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○

【実績値-達成率グラフ】

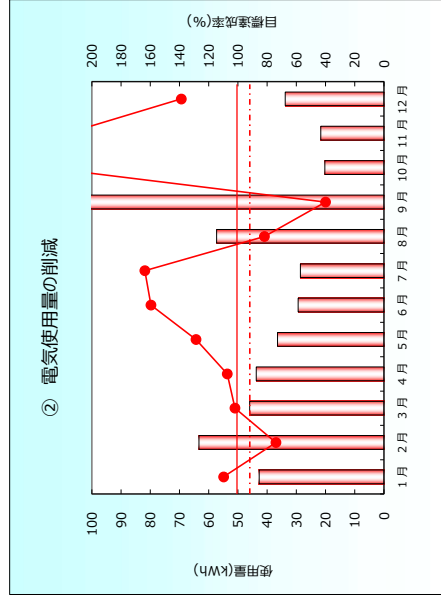
■ : 全社実績値    ● : 目標達成率    - - - : 目標達成率    - - - : 目標達成率

○ : 達成率100%以上、△ : 達成率80%以上、× : 達成率80%未満

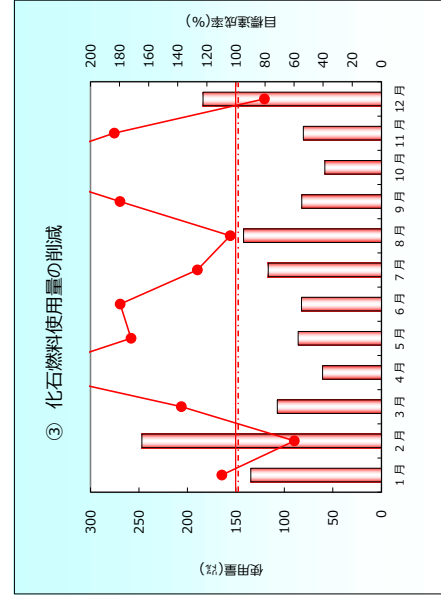


\* 前年比約26%減となり、削減目標を達成した。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、平成29年度東北電力排出係数の0.5233(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。



\* 前年比約3%増となったが、削減目標を達成した。

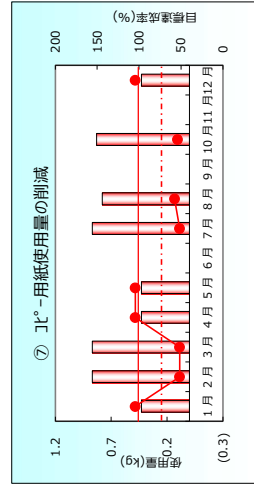
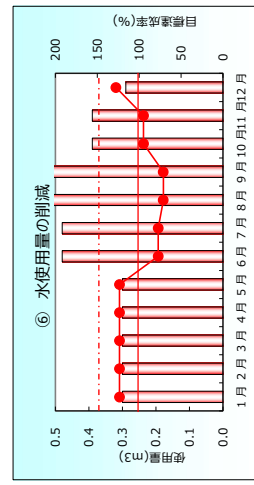
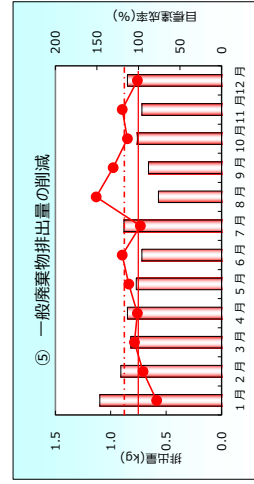
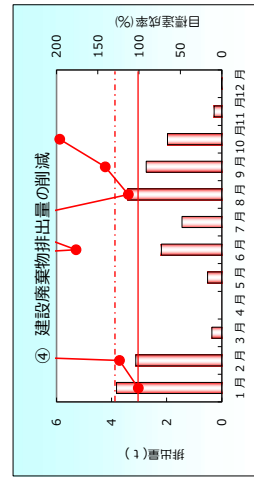


\* 前年比約29%減となり、削減目標を達成した。

取組項目 (単位)	2019年 実績												2019年 目標値	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		実績値
建設廃棄物排出量の削減 原単位 (t/百万円)	全社	3.82	3.12	0.36	-	0.52	2.19	1.45	3.42	2.74	1.97	0.28	0.01	1.67
	(建設現場)	3.82	3.12	0.36	-	0.52	2.19	1.45	3.42	2.74	1.97	0.28	0.01	1.67
目標達成率(%)	100.0	122.4	1,061.1		734.6	174.4	263.4	111.7	139.4	193.9	1,364.3	38,200.0	229%	
結果	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般廃棄物排出量の削減 原単位 (kg/人)	全社	1.10	0.91	0.82	0.85	0.77	0.88	0.57	0.66	0.76	0.72	0.85	9.60	
	(事業所)	0.86	0.91	0.82	0.85	0.77	0.88	0.57	0.66	0.76	0.72	0.85	9.60	
目標達成率(%)	78.2	94.5	104.9	101.2	111.7	119.4	97.7	150.9	130.3	113.2	119.4	101.2	107%	
結果	×	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
水使用量の削減 原単位 (m3/人)	全社	0.37	0.30	0.30	0.30	0.30	0.48	0.48	0.52	0.39	0.39	0.29	4.61	
	(事業所)	0.37	0.30	0.30	0.30	0.30	0.48	0.48	0.52	0.39	0.39	0.29	4.61	
目標達成率(%)	123.3	123.3	123.3	123.3	123.3	77.1	77.1	71.2	71.2	94.9	94.9	127.6	95%	
結果	○	○	○	○	○	×	×	×	×	△	△	○	△	
PC-用紙使用量の削減 原単位 (kg/人)	全社	0.45	0.87	0.87	0.43	0.43	0.87	0.78	-	0.83	-	0.43	5.96	
	(事業所)	0.45	0.87	0.87	0.43	0.43	0.87	0.78	0.00	0.83	0.00	0.43	5.96	
目標達成率(%)	104.7	51.7	51.7	104.7	104.7	-	51.7	57.7	-	54.2	-	104.7	91%	
結果	○	×	×	○	○		×	×		×		○	△	
グリーン購入の推進 購入率：% (グリーン購入/事務用品)	全社	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.00	
	(事業所)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.00	
目標達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100%	
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環境に配慮した創意工夫 提案の推進 完成工事当り (件/工事)	完成工事数	2.0	1.0	2.0	-	-	1.0	1.0	-	2.0	-	1.0	10.0	
	工夫提案数	2.0	1.0	2.0	-	-	1.0	1.0	-	2.0	-	1.0	10.0	
目標達成率(%)	100%以上	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【実績値-達成率グラフ】

■：全社実績値    ●：目標達成率    - - - -：目標達成率    ○：達成率100%以上、△：達成率80%以上、×：達成率80%未満



\* 建設廃棄物排出量は前年比約39%減となり目標を達成した。一般廃棄物排出も前年比約10%減で削減目標を達成した。

\* 前年比約9%減となったが、目標未達となった。

\* 前年より削減したが、目標未達であった。

## VI. 主要な環境活動計画の内容

### 1. 中期活動計画

実施項目		目標	担当	実施方法
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<b>* 電気使用量の削減</b> ①スイッチ、コンセントの徹底。 ②省エネ型機器への移行推進。 ③冷房の温度管理。(26~28℃) ④節電シールの表示。	2019年までに 基準値比 3%削減	工事部EA-21推進者 稲庭 知之 管理部EA-21推進者 岡 富一郎	・毎日10時、17時に不要の消灯確認チェックを行う。 ・改善提案、新製品の情報提供・共有化を行う。 ・設定温度の明示と温度計により確認する。 ・節電表示により常に意識付けを行う。
	<b>* 化石燃料使用量の削減</b> ①環境型機の積極的使用。 ②作業の効率化、機械の適正配置。 ③アイドルリングストップの推進。 ④暖房の温度管理。(20~23℃)	2019年までに 基準値比 3%削減	工事部EA-21推進者 稲庭 知之 管理部EA-21推進者 岡 富一郎	・新技術、新工法及び新製品等の情報収集、共有化。 ・日々の工程チェック、打合せによる配置確認。 ・コトドライブの情報提供、周知を図る。 ・設定温度の明示と温度計により確認する。
廃棄物の削減	<b>* 建設廃棄物排出量の削減</b> ①管理票による適正処理。 ②残余資材のリース、リサイクルの徹底。 ③廃棄物の分別の徹底。 ④材料ロス率の低減。	2019年までに 基準値比 3%削減	工事部EA-21推進者 稲庭 知之 石橋 友和	・マニフェストは管理部で発行し、完了後管理部で保管。 ・在庫情報の周知と分別管理。 ・廃棄物置場の明示により正しく分別する。 ・必要使用量の事前確認と受入数量の確認。
	<b>* 一般廃棄物排出量の削減</b> ①廃棄物の分別の徹底。 ②リース、リサイクルへの積極的取組み。 ③排出計量数値による減量意識の向上。	2019年までに 基準値比 3%削減	EA-21事務局 本村 佐知子 小川 緑	・個人の飲食による廃棄物は社内に持込まない。 ・実施可能な減量化への社内勉強会を行う。 ・月単位で掲示する。(目標、前年対比)
	<b>* IT-用紙使用量の削減</b> ①使用済用紙の裏紙活用。 ②社内文書の電子化の推進。 ③複合機の機能の有効利用。	毎年 基準値以下 維持	EA-21事務局 本村 佐知子 小川 緑	・印刷前のチェック確認を習慣付ける。 ・ハードディスクでの文書の共有・電子化を推進する。 ・社内書類は極力【両面・集約・白黒】で印刷をする。
その他	<b>* 水使用量の削減</b> ①雨水貯留タンクの設置。 ②雨水等の散水、打水等への活用。	毎年 基準値以下 維持	工事部EA-21推進者 稲庭 知之 管理部EA-21推進者 岡 富一郎	・散水・打水等は雨水を利用する。 ・現場での雨水タンクの設置を標準化する。
	<b>* グリーン購入の推進</b> ①グリーン購入法の理解と推進 ②対象品目の把握と購入時の確認	購入率 100%	EA-21事務局 本村 佐知子 小川 緑	・対象品目を把握する。 ・購入時の確認の徹底する。
	<b>* 環境に配慮した創意工夫提案の推進</b> ①環境保全関連の情報伝達。 ②地域貢献活動への積極的取組み	1件以上 (1工事当たり)	EA-21責任者 長谷川 啓一 EA-21委員会	・環境関連の情報伝達を月1回安全日に行う。 ・地域に密着し現場状況に応じた有効的活動を常に模索する。

## 2. 活動期間中の実施計画

実施項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<b>* 電気使用量の削減</b> ①スイッチ、コンセントの徹底。 ②省エネ型機器への移行推進。 ③冷房の温度管理。(26~28℃) ④節電シールの表示。	① ② ④			① ② ④			① ② ③ ④			① ② ④		
	<b>* 化石燃料使用量の削減</b> ①環境型機の積極的使用。 ②作業の効率化、機械の適正配置。 ③アイドルストップの推進。 ④暖房の温度管理。(20~23℃)	① ② ③ ④			① ② ③			① ② ③			① ② ③ ④		
廃棄物の削減	<b>* 建設廃棄物排出量の削減</b> ①管理票による適正処理。 ②残余資材のリユース、リサイクルの徹底。 ③廃棄物の分別の徹底。 ④材料ロス率の低減。	① ② ③ ④			① ② ③ ④			① ② ③ ④			① ② ③ ④		
	<b>* 一般廃棄物排出量の削減</b> ①廃棄物の分別の徹底。 ②リユース、リサイクルへの積極的取組み。 ③排出計量数値による減量意識の向上。	① ② ③			① ② ③			① ② ③			① ② ③		
	<b>* 100%用紙使用量の削減</b> ①使用済用紙の裏紙活用。 ②社内文書の電子化の推進。 ③複合機の機能の有効利用。	① ② ③			① ② ③			① ② ③			① ② ③		
その他	<b>* 水使用量の削減</b> ①雨水貯留タケの設置。 ②雨水等の散水、打水等への活用。	① ②			① ②			① ②			① ②		
	<b>* グリーン購入の推進</b> ①グリーン購入法の理解と推進 ②対象品目の把握と購入時の確認	① ②			① ②			① ②			① ②		
	<b>* 環境に配慮した創意工夫提案の推進</b> ①環境保全関連の情報伝達。 ②地域貢献活動への積極的取組み	① ②			① ②			① ②			① ②		
* * * * * 年間の全体評価・見直し * * * * *													

※ 上表○付No.は、実施項目のNo.を示す。

## Ⅶ. 主な活動結果と評価

### 1. 活動内容と評価

期間中の取組計画		取組み結果	評価	次年度の取組み
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<b>* 電気使用量の削減</b> ①スイッチ、コンセントの徹底。 ②省エネ型機器への移行推進。 ③冷房の温度管理。(26~28℃) ④節電シールの表示。	猛暑により建設現場でのエアコン使用時間が増えた。前年比約3%増加したが、目標をクリアした。	△	安全管理、健康管理の充実を図りながら、建設現場での省エネ対策を講じる。
	<b>* 化石燃料使用量の削減</b> ①環境型機の積極的使用。 ②作業の効率化、機械の適正配置。 ③アイドリングストップの推進。 ④暖房の温度管理。(20~23℃)	機械の適正配置が定着し、前年比約29%減となり、削減目標をクリアした。	○	現場間の連携をより強化し、建設機械、車両台数の適正配置の徹底を継続する。
廃棄物の削減	<b>* 建設廃棄物排出量の削減</b> ①管理票による適正処理。 ②残余資材のリース、リサイクルの徹底。 ③廃棄物の分別の徹底。 ④材料ロス率の低減。	分別や管理票により適正な再資源化は図られていた。前年比約39%減となり、削減目標をクリアした。	○	再資源化や分別及び処理の適正管理を継続して徹底していく。
	<b>* 一般廃棄物排出量の削減</b> ①廃棄物の分別の徹底。 ②リース、リサイクルへの積極的取組み。 ③排出計量数値による減量意識の向上。	計量管理と分別は的確に実施していた。総量も前年比約10%減となり、削減目標をクリアした。	○	分別の取組みを重点的に行い、減量化への意識付けを継続する。
	<b>* 工用紙使用量の削減</b> ①使用済用紙の裏紙活用。 ②電子媒体の有効利用。 ③社内書類の両面・集約印刷の推進。	裏紙・集約印刷等は定着している。削減目標には達しなかったが、総量で前年比約2%削減した。	×	情報共有と周知徹底を図りながら、啓蒙を続ける。
その他	<b>* 水使用量の削減</b> ①雨水貯留タケの設置。 ②雨水等の散水、打水等への活用。	削減目標はクリアしなかったが、前年比約9%削減した。	×	使用量の確認を確実にを行う。
	<b>* グリーン購入の推進</b> ①グリーン購入法の理解と推進 ②対象品目把握と購入時確認	購入時の確認が徹底されている。	○	月単位での確認を継続していく。
	<b>* 環境に配慮した創意工夫提案の推進</b> ①環境保全関連の情報伝達。 ②地域貢献活動へ積極的取組み	地元とのコミュニケーションを積極的に図り、地域貢献活動にも取組んでいた。	○	工事目的、地域性を常に考慮し、地域貢献活動を継続して実施していく。
<b>【評価について】</b> 今回の活動内容の評価は、よりの確な現状把握をするために総量と原単位によって目標と対前年比により評価しました。評価欄の凡例は、下記のとおりです。 ○：目標値をクリアし、かつ前年比より削減できた。(創意工夫提案の評価は目標クリアのみ) △：目標値をクリアしたが、前年比で削減できなかった。 ×：目標値をクリアできず、かつ前年比も削減できなかった。				

## Ⅳ. 環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

### 1. 当社に該当する主な環境関連法規

法規名	主要法規制等	当社の対応	遵守評価結果
「廃棄物処理法」	① 廃棄物の削減 ② 廃棄物の適正処理の確保 ③ 回収・処分は定められた業者へ委託 ④ 産業廃棄物の保管基準の遵守 ⑤ 廃棄物の飛散・流出等の防止 ⑥ 産業廃棄物の処理委託基準の遵守 ⑦ 委託契約書の記載事項の遵守 ⑧ 産業廃棄物管理票の管理義務 ⑨ 多量排出事業者計画書・実績書の届出 ⑩ 管理票交付等状況報告の報告義務	①②廃棄物削減活動の実施 ③指定業者への回収・処分の委託 ④⑤産業廃棄物置場の表示板設置 ⑥委託業者との契約書・許可証の確認 ⑦委託契約書の記載内容の確認 ⑧管理票の交付・保管・戻り状況の確認及び保管状況の確認 ⑨前年1000 t以上の排出実績時、計画を6月30日までに県に提出する。その翌年6月30日までに実績書を県に提出する。 ⑩毎年6月30日までにその年の3月31日以前1年間の交付状況を県に報告する。	○
「新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例」	産業廃棄物委託先の確認	委託先の確認・記録(契約時、契約更新時)	○
「資源有効利用促進法」(リサイクル法) 「再生資源利用省令」 「指定副産物利用促進省令」	① 資源の有効な利用の確保 ② 廃棄物発生抑制と環境保全 ③ 使用済物品等及び副産物の発生抑制 ④ 再生資源利用の原則 ⑤ 「再生資源利用計画」の作成 ⑥ 再生資源利用の促進の原則 ⑦ 「再生資源利用促進計画」の作成	④適切な施工方法の選択、資材置場の確保及び施工機械の選定 ⑤⑦作成・保管状況の確認 ⑥指定副産物の分別と再資源化、再生資源の利用	○
「建設再資源化法」(建設リサイクル法)	① 分別解体等・再資源化等の促進、再生資源の使用 ② 発注者への書面による計画説明 ③ 発注者への書面による完了報告	①再資源化及び廃棄物の縮減を計画・実施 ②③作成・保管状況の確認	○
「騒音規制法」「振動規制法」 「新潟県生活環境の保全等に関する条例」	① 特定建設作業実施の届出 ② 適用指定地域 ③ 規制基準の遵守義務	①届出書の確認 ③測定結果の確認	○
「家電リサイクル法」	① 廃棄時に引取業者への引渡し料金支払	①廃棄時に指定業者へ処理依頼	○
「刃物排出抑制法」	① 管理者の判断の基準 ② 第一種刃物類充填回収業者への刃物類の引渡 ③ 第一種刃物類充填回収業者への書面の交付	①四半期毎の簡易点検の実施と記録・保存。 ②廃棄時に専門業者を介して引渡す。 ③廃棄時に交付する。	○

### 2. 遵守状況及び違反・訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、法規制等の逸脱はありません。  
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありません。

## IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 1. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し日	2020年1月24日
① 環境方針	環境方針は変更しない。
② 環境目標	過去の実績をもとに新たな3か年の中期活動目標とする。
③ 環境活動計画	目標未達の原因を確実に捉えた活動を行う。
④ 環境経営システム	継続的改善の有効性が実感できるよう全員参加で環境活動を行う。

### 2. 総評

中期環境活動の区切りとなる3年目、環境活動目標も概ね達成しましたが、環境活動を通しての達成感や充実感が感じないことへの違和感がありました。

あまりにもマンネリ化した環境活動に因るものなのか、継続してきた環境活動そのものが当たり前になったことに因るのか、今が当社の環境活動自体のターニングポイントなのかもしれません。

まずは、現状把握をし問題点を洗い出し、新たな中期環境活動がより充実した活動となるように全員参加で取り組んでいきたいと思えます。